

## ベトナムFW事前研修を実施しました！

### ①NPO法人長崎ベトナム友好協会（平和班）

来月ベトナムのホーチミンにて「平和」に関するフィールドワークを計画している高校2年生国際科の生徒4名が、7月1日（金）にNPO法人長崎ベトナム友好協会を訪問しました。理事長の富岡勉氏より、同協会発足のいきさつ、産業や医療面等多岐にわたる支援活動、長崎とベトナムの交流の歴史、米中との戦争や国民感情等について懇切丁寧にご説明いただき、生徒の質問に幅広い視点でお答えいただきました。また、「失敗してもあきらめずに継続することが大切」とのメッセージをいただきました。参加者からは「長崎とベトナムの関係がとても深いことを学び、今後の友好関係に貢献したい」、「フィールドワークでは若い世代と交流し、領土問題、枯葉剤や原爆後障害について意見交換してみたい」との感想が聞かれました。



### ②長崎大学熱帯医学ミュージアム（医療班）

来月ベトナムのハノイにて「医療」に関するフィールドワークを計画している高校2年生国際科の生徒4名が、7月1日（金）に長崎大学熱帯医学ミュージアムを訪れ、感染症と熱帯医学研究所ベトナム拠点についてそれぞれ学んできました。感染症では、その感染源、経路、予防から対策まで知ることができ、フィールドワークに行った際に、また自分たちの研究に参考になるものばかりでした。また、現地で実際に訪問予定の熱研のベトナム拠点では、現地だけでなく、世界中の人々のために研究活動が行われていることを知り、そのような施設を訪れることができる喜びを改めて感じることができました。



また、6月23日（木）に1年生のSGH講演会で来校された、熱帯医学研究所所長の森田公一先生からベトナムフィールドワークに関する指導を行ってもらいました。先生からは調査を行う上でのポイントや留意点に関してご助言をいただきました。さらに、ベトナム滞在時の留意点までお話ししていただきました。生徒からは、「予防接種を打ち、万全の状態でベトナムを訪れルールを守って調査を行い、有意義なものにしたい」との声が聞かれました。

### ③長崎大学環境科学部（水班）

来月ベトナムのハロン湾とハノイにて「水」に関するフィールドワークを計画している高校2年生国際科の生徒4名が、7月1日（金）に長崎大学環境科学部の濱崎准教授の元を訪れました。生徒からは、自分の課題研究に関わる「ベトナムにおける農業」「ミジンコを使ったアオコの浄化」「東南アジアの水生活者」「水を介したウィルスへの感染」などに関する質問が出されました。濱崎先生は、それらの質問の一つひとつに丁寧にお答えくださいました。またベトナムでの水質調査について、「あらかじめ浦上川などの水質調査をしておけば、数値の違いがよくわかる」「現地の人に直接インタビューをすることが大事」などのアドバイスをいただきました。それらのお話の中にちりばめられた「現在のベトナム事情」も興味深く、生徒たちもフィールドワークでベトナムを訪れる日がますます楽しみになったようでした。

